

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（貢川地区）

日 時	令和8年5月15日（金）午後7時00分～午後8時00分
会 場	貢川小学校体育館
参 加 者	151名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	<p>・都市像に込めた想いについて</p> <p>ただいま、第七次甲府市総合計画の説明をしていただいたが、都市像と定めた「幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち甲府」とはどのようなことを考えているのか、改めて市長の想いをお伺いしたい。</p>
樋口市長	<p>私はこれまで一貫して「まちづくりは未来創り、未来創りは人創り」を信念に、市政の舵取り役として人の笑顔と豊かな暮らし創りに全力で取り組んできた。</p> <p>「第七次甲府市総合計画」の策定に当たっても、市の最上位計画を二度にわたり策定する機会に恵まれたことに誇りと責任を感じる中で、この信念のもと、人口減少やデジタル化の進展をはじめ、価値観やライフスタイルの多様化など、時代の変化を捉え、改めて甲府の財産である絆が強い「ひと」に着目し、一人一人の市民が明るい希望を持つことができ、またそれを叶えること、叶えようとする事ができるまちづくりこそが重要であるという考えをもって進めてきた。</p> <p>こうした考えのもと、市民の皆様、とりわけ今計画では本市の未来を担う小中学生や若者にも関わっていただきながら作り上げてきた都市像には、まちづくりに関わるあらゆる主体が協働しながら、ふるさとに誇りと愛着を持ち、人と人とのつながりを大切にして、互いを尊重する中で自分らしく輝く人を育み、幸せを実感できる居場所となるまちを創り上げていきたいという想いを込めた。</p> <p>この都市像を実現するための基本目標のキーワードとして「ひと・まち・魅力」を掲げ、お手元の説明資料に示した図のとおり、郷土愛を育む「シビックプライド」、幸福な環境を整え</p>

	<p>る「ウェルビーイング」、多様な主体が協力する「コラボレーション」の3つを推進理念として、実施計画に位置付ける318の事業すべてに取り組むことにより、「ひと・まち・魅力」が好循環するまちを創り上げたいと考えている。</p> <p>私たちのふるさと甲府が、これからも多くの人に選ばれ、誰もが幸せを感じ、生き生きとくらするまちであり続けるよう、全力で取り組むので、貢川地区にお住まいの皆様にも、引き続きのご協力をお願いしたい。</p>
<p>質問</p>	<p>・高畑町昇仙峡線整備について</p> <p>甲府市の都市計画道路であります高畑町昇仙峡線が、現在廃棄道まで整備されている。</p> <p>計画では、国道52号まで富竹西工区として計画されているが、貢川地区での渋滞緩和や、交通安全のため、未来に向けて地域に継続性を確保し、住みやすくするため、高畑町昇仙峡線（富竹西工区）の計画推進が必要だと考えている。今後の高畑町昇仙峡線整備について考えを伺いたい。</p>
<p>まちづくり部長</p>	<p>都市計画道路は、甲府都市計画区域の骨格となる幹線道路であり、甲府盆地をはじめ、県内経済を支える重要な役割を担うとともに、市民の皆様の日常生活の活動基盤となる都市施設である。</p> <p>本市では、効果的・効率的な都市計画道路の整備推進を図るため、優先整備路線6路線7工区を位置付けた「都市計画道路整備プログラム」を策定し、現在、高畑町昇仙峡線の富竹西工区の北側に位置する池田工区を含めた上位3路線を事業化し、整備を進めている。</p> <p>ご質問の富竹西工区は、優先整備路線に位置付けていることから、事業化については、現在進めている整備路線の進捗を踏まえ、検討していく。</p>
<p>質問</p>	<p>・サイカチの木の管理について</p> <p>上石田一丁目には旧貢川が流れていた箇所に樹齢300年とされるサイカチの木がある。</p> <p>この木は「上石田のサイカチ」として昭和44年に甲府市の天然記念物に指定され、上石田北部自治会の所有となっている。</p>

<p>教育部長</p>	<p>どのような経緯で天然記念物に指定され、上石田北部自治会所有となっているかは不明であるが、近年老朽化が進み対策が必要である。</p> <p>地域では周囲の清掃活動などの管理をしているが、棘のある大木のため地域では管理できない。通行人の安全確保のためにも補強や枯れ枝の除去など市の対応をお願いしたい。</p> <p>この木は、単に長い年月を経ただけではなく、かつてこの地域にあった川の環境を今に伝える自然の歴史的価値や、地域の皆様に大切にされてきた信仰や愛着、さらに江戸時代から続く景観の一部であることを理由に、昭和44年2月に当時の上石田北部自治会長の申請をいただき、甲府市の天然記念物に指定したところであり、この木の管理者については、昭和47年9月に「自治会長」から「上石田一丁目北部自治会」へ引き継がれ、現在も地域の皆様に支えていただいている。</p> <p>樹木の老朽化については、天然記念物のため樹木医による診断や枝の補強などの対応について、管理している自治会の皆様と状況を確認したうえで、適切な支援を検討する。</p> <p>また、通行される方の安全確保も重要のため、棘のある枯れ枝の除去については、引き続き、地域の皆様のご協力をいただきたい。</p>
<p>質問</p>	<p>・南西第二公園の整備について</p> <p>南西第二公園について、毎月自治会役員がごみ拾いや草取り、低木の剪定をしており、高齢者が健康保持のためのスポーツを行う場所として利用している。また子どもたちが遊ぶ地域の交流の場となっている。</p> <p>建設から年数が経ち、老朽化により時計が壊れ、特にトイレは使用に支障を来している。高齢者にとって和式トイレは使用しにくく、快適ではない。また、近隣には150世帯が住んでいるマンションがあり、災害時には緊急の避難場所となる。最低限、時計・トイレの改修は必要かと考えている。</p> <p>第七次総合計画では快適で暮らしやすいまちづくりを目指しているが、このような老朽化した施設の整備について、どのように考えているか。</p>

まちづくり部長	<p>公園施設については、保全や改修など計画的な長寿命化対策を実施しながら、施設の安全性や快適性の維持に努めている。</p> <p>南西第二公園の時計の故障については、改修に向けた準備を進めており、設置位置に関する地域合意が得られ次第、令和8年度中に対応する。</p> <p>トイレについては、日常の点検や清掃、修繕を行いながら、施設の規模や利用状況、立地特性のほか、社会情勢の変化等も踏まえる中で、改修の必要性を検討していく。</p>
質問	<p>・第七次甲府市総合計画策定に向けたアンケート調査について総合計画策定に向けて行ったアンケート調査とはどのようなものか。</p>
樋口市長	<p>市内にお住まいの中学校3年生を除く15歳以上の方2,000人、市立の小中学校の協力のもと、小学校4年生から中学校3年生までの7,100人、市内への通勤者600人、92の事業所へのアンケート調査を実施した。</p>
企画部長	<p>詳しい調査結果等については、市ホームページに掲載しているためご覧いただきたい。</p>
質問	<p>引き続きアンケート調査を実施する予定はあるか。</p>
企画部長	<p>今後、市民の幸せ実感度・満足度を把握するためのアンケートなどを随時実施してまいりたい。</p>
樋口市長 (まとめ)	<p>貴重なお時間をいただきありがとうございました。いただいた意見・要望はしっかり受け止めさせていただき、地域の環境整備に努めていく。</p>
地区からの挨拶要旨	
貢川地区自治会連合会会長	<p>第七次総合計画の進め方や想いが示され、行政の考えもよく伝わってきた。地域でも事業推進に協力体制を整えていく。</p> <p>また、貢川地区において、早急に進めていただきたい事業についての今後の見通しが示され、事業推進に期待する。</p> <p>一つお願いとなるが、貢川の土手の桜並木について、地域の</p>

	名所であるが、植樹より40年経過し、枯れた木もあり、倒木も心配であることから、今後対応をお願いしたい。
--	---